

地域の力を信じて

日本全体の課題となった人口減少問題に対して、全国各地の現場でさまざまな試行錯誤が続けられています。自分たちの暮らす地域の将来は自分たちの手で。そんな気持ちのこもった4つの事例をご紹介します。



北海道厚沢部町 「素敵な過疎のまち」 をめざして

「素敵な過疎」という何とも不思議なキーワードを掲げたまちづくりが進められています。デメリットをメリットに変える発想の転換がもたらした政策で町はどう変わってきたのか。成果と課題を考えます。(本誌四二頁)

高知県中土佐町 地域に根ざした県職員の奮闘

現在、約六〇名の県職員が地域支援企画員として高知県内の市町村に常駐し、元気なまちづくりに取り組んでいます。「かつおの一本釣り」で有名な中土佐町を元気に盛り上げる活動をご紹介します。(本誌四六頁)



奈良県宇陀市 「新しい田舎の時代」 を先取り

中山間地域の人口減少と高齢化はきわめて深刻になっています。戸数三六戸となった室生深野地区で、人びとが立ち上がりました。都市部の住民との交流で、確かな変化が生まれようとしています。(本誌五四頁)



兵庫県朝来市 若者世代をターゲットに した政策を展開中!

二〇一四年にスタートした第二次総合計画で人口政策を最重要課題と位置つけた朝来市。人気急上昇の。天空の城。竹田城跡など魅力的な地域資源を最大限に生かしつつ、市民主役のあざこ暮らしを応援しています。(本誌五九頁)

